

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターわくわくキッズ					公表日	令和7年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・現場の人数が多く子どもの刺激になる時は、2階で作業するようにしている。	お子さんたちが安心して活動に取り組めるように、職員も環境の一部であることを意識していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・各セッション後、適宜、1日の療育終了後、全て消毒を行っている。	各セッション後に環境を整え、整理整頓を意識していく。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・発達段階や特性、課題の内容等によって個別のエリアやパーテーションを使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・支援前後に振り返りを行っている。 ・職員の意識作りは今後さらに努力が必要だと思う。	各自の業務分担が負担になっていないかなどの見直しを実施していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・意見箱の設置や前年度の評価を参考に改善に努めている。 ・意向などの把握をすることは進んできているが、業務改善までは至っていないので今後努めていきたい。	保護者の意向を踏まえた業務のあり方を検討していく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・決まった曜日の会議時や、適宜話し合う場がある。 ・モニタリングや支援会議を行っている。	業務については、各自の負担感がないように確認しながら分担していく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6.2%	93.8%	・実態が不明。	県の社会福祉協議会へ外部評価実施希望を出しているが、現在の段階で未実施。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・希望したものに参加させていただいている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	・今年度中に公表予定。	令和7年3月にホームページにて公表予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・サポートセンターの相談会等の結果を参考にしている。また、評価キットの実施、年長児の就学に向けた発達検査の実施。	フォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを実施しお子さんたちの特性を理解しながら計画作成をしていく。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・支援会議で利用児の様子や目標について話し合っている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	93.8%	6.2%	・支援会議で共有している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・評価キット、PEP、知能検査、行動や観察を行っている。	フォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを実施しお子さんたちの特性を理解しながら行動観察をしていく。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		支援会議等を通じて活動プログラムの見直し等を行っていく。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・複数人でスケジューラーを作成し、固定化しないように努めている。	支援会議等を通じて活動プログラムの見直し等を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎時ではないが、必要時に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・送迎でない職員を除いたメンバーで振り返りを行うことがある。話し合った件については振り返りノートで共有している。	時間帯によって不在の職員とも情報共有できるよう振り返りノートに記載していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		半年ごとに実施している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・保育所等のやり取り、医療機関への情報提供を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・入学支援シートの記入や、入学支援会議に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	81.3%	18.7%	・会議に出席している職員がいる。 ・実態が不明。	取り組み内容を全職員に周知していく。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	・コンサルテーションや研修を受けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	81.3%	18.7%	・参加している職員がいる。	会議等へ出席した職員が、全職員に内容を周知していく。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	・併行通園の利用児が多い。 ・概ね事業所と園の併用で通園しており、子ども達が園で他児と関わっている。	並行通園していないお子さんへの地域参加を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	87.5%	12.5%	・保護者ルームの開放をしている。 ・保護者学習会やペアレントプログラムで兄弟同士が一緒になること、保護者同士の関りがある。	保護者ルームの利用を促し、保護者同士やきょうだい同士が関われるようにしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	93.8%	6.2%	・月に1回、キッズ通信を発行している。 ・HPやSNSの活用はしていない。	キッズ通信の発行を継続しながら、一斉メールシステムを活用しながら情報の発信を行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	87.5%	6.2%	・わくわくワークラリーに地域住民を招待している。	法人主催の行事等へ引き続き地域の方を招いていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	93.8%	6.2%	・毎月避難訓練を実施し、結果や様子をキッズ通信に載せている。 ・訓練は実施しているが、マニュアルの内容を周知してはいない。	各マニュアルの保管場所及び内容を全職員に周知する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・指示書をもらうほどの重篤なアレルギーの子はいない。必要があればいただく。 ・アレルギーの有無をチェックし、一覧にして管理している。 ・医師の指示書を必要とするお子様は現在おいではないが、アレルギーへの対応は行っている。	該当利用児がいる場合には、医師との連携を行っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	93.8%	6.2%	・キッズ通信で周知している。	保護者に向けて安全計画について折々に発信していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	93.8%	6.2%	・現在該当する利用児はいない。 ・身体拘束を行うケースがないため、説明を記載していない。	